

Ⅱ. 1. 刊行物等

○紀要『言語文化研究』

『言語文化研究』第48号(2022) 目次

【退職教員略歴】

伊勢 芳夫 教授の略歴および主要研究業績

【学術論文】

植田 晃次 旧朝鮮語学の国外への影響：ロシア・東洋学院 G. V. Podstavin 教授をめぐって

王 周明 日本漢語教科書形式與内容變遷的啟示（一）：以其江戸明治時期漢文背景的变化為中心

菊池 正和 マリネッティにおける機械化された身体

北岡 志織 なぜ難民が舞台に立つのか：「表象不可能性」をめぐる議論からの一考察

坂内 千里 『説文解字繫傳』中の会意・形声について

篠原 学 小説と政治的なもの：『存在の耐えられない軽さ』を再読する

夏 嵐 试析话剧史上改译剧长期存在的原因

秦 秀美 日本語の「V-てもいい?」と韓国語の「V-아도 돼?」の運用に関する一考察：相手の意に沿わない恐れがある提案場面を中心に

宮本 隆史 批評するアーカイブ：カビール・プロジェクトとウェブサイト「驚異の街」

DELBES, Sébastien L'écrit asynchrone dans un dispositif hybride de simulation globale en contexte universitaire japonais

SUGAYA, Yusuke Interpreting Spatial Scenes for Choice of Demonstratives: A Psycholinguistic Contrastive Study Between Japanese and Chinese

【研究ノート】

塩谷 茂樹 民和土族語の述語形式に関する初歩的研究：モンゴル語族内の位置づけと主観・客観形式の弁別をめぐって

高橋 健一郎 ニコライ・メトネルの音楽論(2)：『ミューズと流行：音楽芸術の基礎の擁護』翻訳と解題（第1部第6章）

宮原 暁 マイノリティの日本語：「母語」の暴力性を越えて

○言語文化共同研究プロジェクト 2021 目次

『自然言語への理論的アプローチ』

- ・宮本 陽一 A Note on Control in Japanese
- ・中野 晃希 日本語繫辞文と格標示無し分裂文
- ・越智 正男 Numeral Classifiers and Labeling: A Preliminary Study
- ・大谷 修樹 On Null Arguments in Japanese and Tagalog
- ・山田 彬堯 イ形容詞文における丁寧語使用の歴史的変化：状態空間モデルを用いた時系列分析
- ・由本 陽子 カテゴリー別に考える第1投射の条件

『認知・機能言語学研究 VII』

- ・小栗哲哉 V 方ヲスル構文における受身ラレの二重標示について
- ・瀬戸義隆 現代日本語条件文の条件節の分布にもとづく分類
- ・蘇 暁笛 「V1+込む」の多義分析における多使用論的アプローチの有効性についての検討
- ・田尾俊輔 英語前置詞 at の〈場所〉義と〈時間〉義の意味的關係に関する考察
- ・板垣浩正 Language Creativity of Novel Instances: The Case of Perceptual Expressions for Tactile Sense
- ・三野貴志 A Brief Note on *There* Contact Clauses: With Special Focus on *There* Contact Clauses Selecting Come as the Second Verb
- ・坂場大道 *Mottainai* as a Japanese Cultural Keyword—A Key Semantic Difference to the English Word *Waste*—

『Cultural Formation Studies IV』

- ・木村 茂雄・小杉 世
はじめに
- ・小倉 永慈 「論者の意図の誤謬」試論
——ローティ、スピヴァク、ウォレス、あるいは、代弁=表象することの謙虚さ——
- ・桑原 拓也 プロセス・ライティング・フィクションの試み
——オートフィクションとメタフィクションの理論について——

- ・小杉 世 Indra Sinha の *Animal's People* とボパール、水俣、太平洋核実験
——地上 60 センチの目線で見た世界——

『「文化」の解説 (22) —文化とイデオロギー—』

- ・Oliver AUMANN Interpretation und Ideologie
-Guo Xiang und sein Zhuangzi-Kommentar
- ・山本 佳樹 ブロッチホは何を見たか
—ヴィム・ヴェンダースの『ゴールキーパーの不安』とペーター・ハントケの原作小説
- ・徐 玉 任侠映画における女たち
—「姐御」としての岩下志麻をめぐって
- ・津田 保夫 村上春樹『色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年』の謎
—なぜつくるとはシロからの虚偽のレイプ告発をされたのか

『テキストマイニングとデジタルヒューマニティーズ 2021』

- ・田畑 智司 プロジェクトの目的と活動
- ・黒田 絢香 トピックモデル可視化ツールの開発に向けて
- ・藤田 郁 LDA トピックモデルによる IPA テキスト分析の試み—アルフレッド・テニスの韻文を用いて—
- ・浅野 元子 学術英語遠隔授業におけるジャンルの認識に関する調査—日本の大学 1 年生を例に—
- ・福本 広光 米国一般教書演説における分離不定詞についての記述分析—1960 年代から 2020 年の用例を中心に—

『言語文化の比較と交流 9』

- ・渡辺 貴規子 明治時代後期の少女向け読み物におけるジャンヌ・ダルクの伝記
—ヒロイン像の変容をめぐって—
- ・中 直一 『獨逸語學雑誌』の読者層 —雑誌記事の分析より—

『ドイツ啓蒙主義研究 19』

- ・福田 覚 『批判的論叢』24号におけるミルトン批評の言説
—文学論争の再考にむけて(3)—
- ・廣川智貴 対話小説への道 —J・J・エンゲルの理論と実践—

- ・吉田耕太郎 野生児をめぐる18世紀の緒言説 1

— 言説の付置の確認 —

『応用会話分析研究—会話における情意表現の役割—』

- ・岡田悠佑 TAの「授業参加」を介した「教育」の達成
—大学EGAP授業での教師・TA間の3パート連鎖の会話分析—
- ・石野未架 共感の回避にみる外国語指導助手(ALT)の教育的立ち位置
—ティームティーチング授業の会話分析から—
- ・福島玲枝 高校生の英語使用時の「気持ちを伝える」表現とその役割授業における
「やり取り」活動の分析
- ・菊池春花 The role of affection in language classroom discourse to assist younger learners' participation

『時空と認知の言語学XI』

- ・王 周明 中国語教科書に見る「中国語」および「中国」
—1950年代後半～80年代前半中国原編日本改編のものを中心にグローバル
リゼーション下の台湾「バイリンガル国家政策」
- ・高橋克欣 時況節の位置と談話解釈上の機能 - quand 節と comme 節の分析
- ・瀧田恵巳 指示詞の体系を構成する二つの意味基準について
- ・田村幸誠 松浦幸祐 方言習得に関する一考察：非関西圏出身大学生の京阪式アクセント習得をめぐる調査結果を基に
- ・春木仁孝 現代フランス語の là の機能について
- ・渡辺伸治 現代語版ルター聖書/現代語版チューリヒ聖書における gehen/kommen
—マタイによる福音書を対象に—

『応用言語学における理論と実践 —研究と教育を通して—』

- ・西田 理恵子 内容と言語に関わる実証研究-国内外の研究を通して -
- ・LEE SHZH-CHEN, Nancy Conceptualizing online second language teacher self-efficacy
- ・HELVERSON, Gwyn Transitioning into Academic Writing via a Soft CLIL Module on Immigration Issues
- ・青山 拓実 中学生の英語学習動機の特徴：学年間の比較による横断的分析

- ZĄBORSKĄ, Dorota Learning from Positive Psychology – Soft-CLIL Approach in Communicative English Class.

『英語のレトリック・日本語のレトリック』

- 大森 文子 渡辺秀樹先生を称えて
- 渡辺 秀樹 Shakespeare における時の擬人化のヴァリエーション
英国 16-17 世紀の詞華集・詩語集を基礎資料にした Time の epithets と apostrophes 再考
- 大森 文子 時のメタファーとシェイクスピア
- 岡部 未希 Dickinson の詩における宝石の比喻
—9 種の宝石に着目して—
- 竹森ありさ 色彩語 white を含む強意直喩表現の分析
—white as snow/ a sheet/ marble の比較—
- Luke Malik The Cognitivist/Non-Cognitivist Divide in Metaphor Studies
- Yuuki Tomoshige George. H. W. Bush’s Metaphors in Speeches Delivered in 1989
How Freedom Is Metaphorized in Speaking of Freedom

『表象と文化 XIX』

- ディボフスキー アレクサンドル
21 世紀の J-POP における若者のアイデンティティ問題について
- 林 千宏 「図像」の変遷—『カンツォニエーレ』から『愛のエンブレム』へ—
- 川村 明日香 視覚のハイパーリアリティ化
—東京ディズニーリゾートの視覚システムを例に—
- 北村 卓 ボードレールの「異邦人」とカミュの『異邦人』
—タイトルの日本語訳をめぐって—
- 銭 蕾 中国のヤオイ情報誌—『菠萝志』を中心に—
- Benjamin Salagnon Jeux de société dans la classe :
cadre pédagogique et expérience autour du jeu Qui est-ce ?
- 篠原 学 ミラン・クンデラの小説実践における「近代」

『英語教育の新たな実践に向けて』

- HINO, Nobuyuki Acknowledging cultural differences without cultural stereotyping:
A challenge for EIL teachers

- KOGUCHI, Ichiro Academic writing course for postgraduates: A revised syllabus
- 小田 節子 コロナ時代の大学における遠隔授業実践
- HATTORI, Takuya IPA notation for intonation in learner English

『批判的社会言語学の深化』

- 山下 仁 Ablehnung der Kommunikation: Pragmatische Überlegung über die kontrastive Untersuchung der nicht-kooperativen Kommunikation emarks on Adjectivization
- 上田 直輝 ‘Intercomprehension’の定義的曖昧性とその和訳表現の妥当性
- 呉 素汝 台湾在住外国人に向けた多言語表示 — 台中東協廣場の調査から —
- 沈 吉穎 外国人高度人材とは誰なのか？
— メディアにおける外国人高度人材の表象に関する一考察 —
- 植田 晃次 朝鮮語テキストの言語呼称小攷 — 歴史と変化のはざまの風景 —
- 小川 敦 ルクセンブルクの言語イデオロギーを再考する
— 議会請願を手がかりに —

『音声言語の研究 16』

- 郡 史郎 宮崎清武町における「無アクセント方言」の談話音調
- 呉 璇歆 (Wu Xuanxin) 広東語話者および北京語話者による標準中国語 2 音節軽声語の産出について
- 韓 喜善 日本語におけるアクセントの逸脱による違和感の要因 — 日本語母語話者および日本語学習者について —
- YAMAMOTO, Takeshi Word-initial Yod Coalescence in British English: Why does *tune* coalesce, but *sue* does not?

『ことばと社会①』

- 佐藤彰 クルーズ船における新型コロナウイルス感染症への政府の対応を欧米メディアはどのように伝えたか？
- 秦かおり 在英日本人移民の COVID-19 についてのナラティブにおけるアイデンティティ — 語りに現れる被差別体験を分析する —
- 榎本剛士 「クロノトポス」について
— コミュニケーション分析に援用するための理論的基礎考察 —
- 岡本能里子 新型コロナウイルス感染症対応におけるサイン表示の一考察
— 地方自治体のマルチモード情報の現状と課題 —

- ・ 児島麦穂 自然談話研究における Observer's Paradox に関する考察
—女性多人数会話の継続・縦断調査を事例に—
- ・ 張碩 流行語に潜む権力の不可視化
—新型コロナウイルス感染症における「自宅療養」の意味変遷をめぐって—
- ・ 中川佳保 Twitter における傷つきの社会的構築
—コントロール可能なものとしての傷つき—
- ・ 竹村博恵 在韓日本人女性が選択する「諦め」の実態
—語ることを通じて構築される彼女たちのアイデンティティへの考察を通じて—
- ・ セメノワ・アナスタシア
 安倍政権の対ロシア外交における言語使用に関する一考察
—「First name basis」の使用を中心に—

○言語文化共同研究プロジェクト 2022 一覧

整理番号	共同プロジェクト名	研究代表者
1	自然言語への理論的アプローチ	越智 正男
2	認知・機能言語学研究VIII	早瀬 尚子
3	Cultural Formation Studies V	小杉 世
4	「文化」の解読(23)—文化とコミュニケーション—	山本 佳樹
5	テキストマイニングとデジタル・ヒューマニティーズ 2022	田畑 智司
6	言語文化の比較と交流 10	平山 晃司
7	応用会話分析研究 2022—ニューノーマルの達成・獲得を可視化する—	岡田 悠佑
8	時空と認知の言語学XII	渡邊 伸治

9	応用言語学における理論と実践 ―研究と教育を通して―	西田 理恵子
10	レトリックと文法	大森 文子
11	表象と文化 XX	林 千宏
12	英語教育の新たなる実践に向けて(2)	小口 一郎
13	批判的社会言語学の現在	小川 敦
14	音声言語の研究 17	山本 武史
15	ことばと社会②	秦 かおり